

研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

病院薬剤師の問い合わせ業務の分析と質問-回答ペアデータベースを参照することの有用性に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2024年4月1日から2025年3月31日に、昭和医科大学江東豊洲病院薬剤部においてDI業務関連の業務集計および業務改善目的としたアンケート調査に回答した薬剤師

2. 研究目的・方法

本研究では、病棟で働く薬剤師が日々行っている「問い合わせ対応」の業務について、どのような課題があるのか、またそれらの課題にどのくらいの頻度で直面しているのかを調べます。

さらに、薬剤師が過去の問い合わせ記録をまとめたデータベース()を参照することで、業務にどの程度役立っているのか、業務の負担が減っているのかについても調査します。

この研究は、薬剤部内で新たに導入した「問い合わせ記録データベース」が、薬剤師の仕事の効率を高めるかどうかを評価することを目的としています。

調査には薬剤部内で実施したアンケート結果を使用します。個人が特定される情報は一切収集せず、集計されたデータのみを使用します。

「問い合わせ記録データベース」とは、自分の病院だけでなく、他の病院での問い合わせ内容とその回答を検索・閲覧できるデータベースです(AI-PHARMA: <https://aipharma.jp/>)。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、次の3つの情報を使用します。

アンケート調査の結果

対象となる薬剤師に対し、以下の内容についてアンケートを行いました：

病院薬剤師としての勤務年数、問い合わせ業務を負担に感じるかどうか、負担に感じる理由、回答の作成が難しいと感じる内容、使いやすいと感じる情報検索の方法、1週間あたりの問い合わせ対応にかかる時間

実際の問い合わせ記録の内容

以下のような項目について、過去の問い合わせ記録を使用します：

問い合わせの内容、対応した薬剤師、DI室（医薬品情報室）との連携の有無、問い合わせがあった時間帯、使用した情報源、個人情報に関する内容かどうか、問い合わせをした方の職種や患者さんとの関わり、問い合わせを受けた部署、回答にかかった時間および記録作成にかかった時間、過去の問い合わせ記録を参照したかどうか、その記録がどの程度役に立ったか、質問された日付

問い合わせ記録データベースに公開されている情報

データベースには以下の情報が公開されています：

問い合わせの内容、質問された日付、使用された情報源

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 昭和医科大学 薬学部 病院薬剤学講座 助教 越塚宏美

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

なお本研究は、回答いただいた Google フォームに氏名を記載する欄を設けていないことから回答より個人を特定することができないため、該当データの削除ができないことはご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院

氏名：越塚 宏美

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6389